

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	カラフルココ		公表日		令和8年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	利用人数がマックス時には外出活動を取り入れるなど密集しないように時間をずらしたりしている。	利用人数の調整も行い、安心して過ごせる場を提供したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	現在、7名（パート含む）の職員を配置している。	適切な人数で安全に支援できるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	構造化、視覚支援も取り入れています。車椅子の入室も可能で環境に配慮をしています。	1人1人の特性に合わせた支援を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日、清掃やこまめな消毒、換気。空気清浄機の使用。感染症対策も行っている。車内も同様。	清潔で過ごしやすい空間であるように常に心がけています。空気清浄機やエアコンの定期的な内部清掃も行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	下校の早い子から学習を終わらせて散歩や近くの公園に外出して過ごす事もある。	個室が少なく、人数が多いと使用できない状態になっている為、職員間で話し合っ工夫しながら使用していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	目標設定、振り返りを日々行い、細かい情報の共有ができています。	個人記録や事例検討などを通して支援の振り返りをしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価を受けている。	毎年保護者より評価を行い、その中で出た課題については随時検討していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	朝会で全体的に相談する事もでき、日頃から職員間で話しやすい環境にある。	パート職員の勤務形態で業務連絡が伝えられないまま勤務に入る事もあり、今後適切な対応が必要に思われる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	今後行っていく予定。	今後の課題として検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	6	今年度は社協主催の研修会に職員全員が参加した。	各種研修に積極的に参加して職員のスキルアップにつなげていきます。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページやパンフレット等で公表している。	支援プログラムはダイバースホームページをご覧ください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	初回面談の際にアセスメントを行い、それに基づいて計画を立てている。	お子さまの状況や保護者様のニーズを踏まえて支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	児発管が作成した原案を会議で、訂正箇所の有無の確認をし、職員間で共通理解を深めている。	パート職員の出勤時間によっては書類に目を通せない事もありうるため、時間確保が必要である。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	共有された計画を基に、それぞれの職員の得意分野で支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日常の様子を記録し個別のニーズに合わせた支援をしている。	観察や聞き取りで全体的な特性の理解、検査などの数値だけでは見えないその子らしさを知り、環境調整に努めています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援ガイドラインに基いて具体的に分かり易く見ていてワクワクするような計画になるように努めている。	地域支援や地域連携にも力を入れていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員全員で考えて、手厚い支援となるように調整している。	イベントや外出等の活動に関しては特に全職員で立案し、意欲的に活動を取り入れていく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	四季に応じたイベントも毎回異なる事を取入れるなど工夫をしている。	地域のイベント情報などを収集し、色々な行事に参加していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	その子に応じた個別支援には特に力を入れ、集団活動での外出もみんなが楽しみにしてくれている計画となっている。	出来ない事ではなく、子ども達が楽しめる事を考えて、計画を立てていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	送迎や担当職員等、職員間で相談しあい、支援の内容を共有している。	役割分担をしてお互いに足りない部分はみんなて補っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後も記録を取りながら共有したい事を話し合える環境になっている。	職員全員で振り返りを大事にして共有した情報を基により良い支援につなげたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	1人1人の療育の状況を、担当した職員が記録を取っている。強度行動障害、個サポの記録も行っている。	記録にとる事で支援の振り返りや、改善を更に強化したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングを行い適切な見直しをしている。	計画の見直しだけでなく、利用児の家族全体にも配慮して必要に応じてモニタリングを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	4つの基本活動を組み合わせおこさまの発達段階や特性に応じた支援を行っています。	期間外であってもその都度見直しをしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	複数の中から自らが選んだりすることが出来るように配慮している。	どのおこさまも自ら選びことが出来るように更に工夫、配慮をしたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	学校や市等、様々な機関と連携し事業所からも会議に積極的に参加し日頃の様子を共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	下校時刻は、直接的に保護者様にLINEで送ってもらうなど協力してもらい、学校とは必要時には連絡を取り合っている。	必要時には学校と情報共有ができるように繋がりを深めていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	新入学児を迎える際には、訪問、見学を行い、情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	該当者なし。	移行支援を行うようになった時は情報提供を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	今年度は芋ほり体験が出来た。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	児発管が参加し内容を職員に報告している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	事業所での姿や家庭での様子など、こまめに連絡を取り合って情報の共有をしている。	気になる事があればすぐに話せるような、信頼関係を築き、親身になって対応していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	該当するご家庭には案内をしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に児発管が説明している。	重要事項説明書等を一緒に目を通して確認しながら丁寧に説明していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	子どもや保護者の意向等の確認は数回のモニタリングの機会を作って行っている。	本人の意向をしっかりと聞き取りしていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	説明の際には計画書を見ながら行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時や電話対応、LINEを通して行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	毎年3月に保護者会を開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情対応の窓口を設けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	行事ごとにLINEでの画像送信、インスタグラムにて定期的に掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の同意を得ると共に日々の記録や個人情報ファイルの保管など責任を持って管理している。	今後も細心の注意を払って管理をしていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	それぞれの障害特性に配慮して、分かりやすく伝えている。	視覚支援なども使って分かりやすく伝えていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域の行事やイベントには参加しているがカラフルココの行事に地域住民を招待する機会はまだない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	全てのマニュアルを作成、職員間で共有。訓練も年2回行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	作成を行い、委員会、訓練も定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメントで特に注意して聞き取りをして、職員間で周知をしている。	アセスメントシート記入などで随時更新して確認していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・アレルギーがある子どもの食事には特に注意を払っている。 ・おやつ提供では事前に職員でチェックを行っている。	口にすることは全て全職員で確認をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、施設設備、送迎車の点検も行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に説明し、子どもの安全に配慮すると共に災害や事故発生時の対応や連絡を共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット報告書を作成し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止や身体拘束に関する研修を受け、適切な対応について理解を深めて周知徹底している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束に該当する事はほぼないが、理解を深めながらしえんにあたっている。		